

空家の実家を再生して移住。中心に配置された玄関ホールと減築による複数の中庭によって、視線・風・光が伸びやかに各室をつなぐ巧みな作り。古い材料と馴染む内外装が深く気持ち良い空間。今後の住み方も興味深い。

リフォーム前後の写真



築100年以上の民家



基礎、筋交いなどまともなものはない



全面ベタ基礎とし、筋交いや金物で補強



正面：道路と庭とを、網代塀で柔らかく視線を遮っている



アプローチ：塀は杉板を網代に編んだもの

小屋裏までを吹抜けとし、正面には坪庭を配置



無垢板を柱に持たせた、脚なしの大テーブル



エントランス正面の坪庭



玄関：床は三和土とし、飛び石を散らし

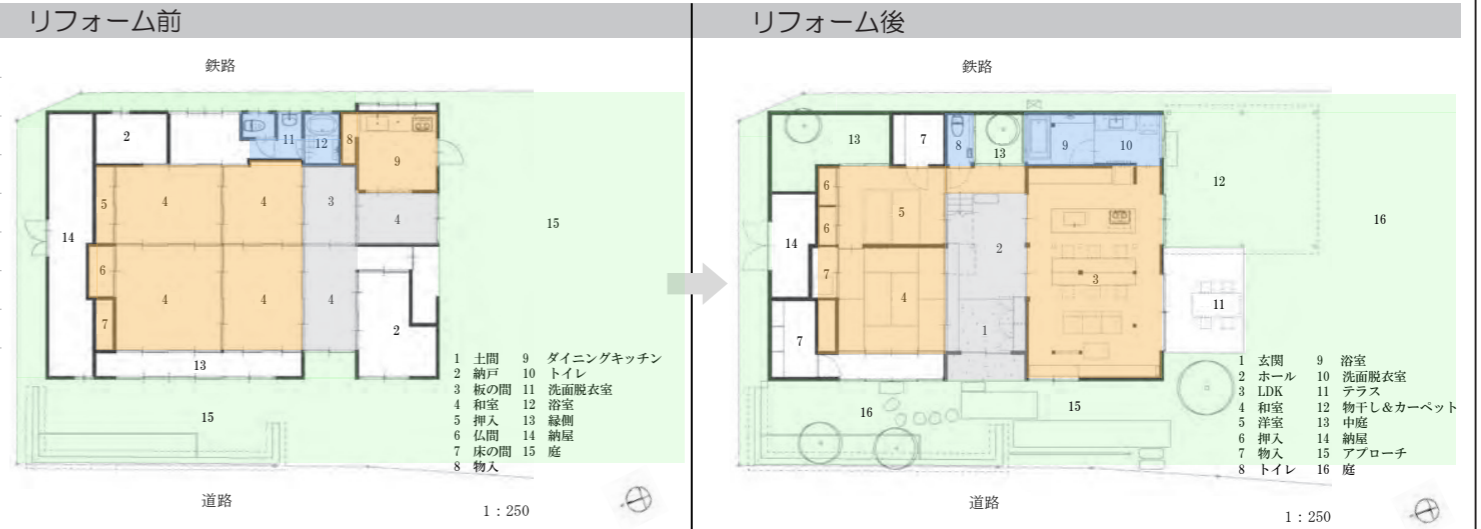


ダイニングキッチン

- ・リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など
- ・築100年以上の古民家の全面改修。
- ・クライアント夫妻はリタイアを機に、空き家になっていた実家を再生して田舎暮らしをすることにした。
- ・耐震診断・設計・構造補強については、兵庫県の助成を受けて、建物の歪みを矯正しながら、ベタ基礎、アンカー金物、筋交い、合板補強などにて全面的に構造補強した。
- ・東側は播但線の線路に面するため、騒音を和らげながらも自然光や通風が得られるように、東側の増築部分の一部を減築して、玄関ホール、浴室、寝室などからも四季を楽しむことのできる中庭とした。
- ・道路側では杉板を網代に組むことにより、柔らかく道路からの視線を遮ることとした。
- ・部屋数を減らし、床は土間タイル（床暖房）、天井は小屋裏を表すことにより空間を広げ、豊かな生活空間を確保した。
- ・内部仕上げでは、古い木材や建具を残しながら新しい材料と組み合わせ、経年を楽しむ構成とした。

性能向上の特性	特に配慮した事項
耐震性、断熱性能、機能性	リタイアを機として、ゆったりとした田舎暮らしを楽しむために、ゆとりのある空間と経年変化を楽しむことのできる材料による構成とした。

所在地	兵庫県神崎郡市川町	築後年数	約100年	施工期間	290日間
該当工事面積	131.25㎡ / 総工事床面積 143.67㎡	該当部分工事費	2,100万円 / 総工事費 2,100万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満：2人、65歳以上：0人、15歳未満：0人、ペット：				



リフォーム部位：■居室 / ■台所 / ■浴室 / ■便所 / ■洗面所 / ■廊下 / ■階段 / ■玄関 / ■エクステリア / □マシオン共用部分